はじめに　7

第1部　宗教政策と植民地布教

第1章　植民地期朝鮮における宗教政策と日本仏教

1　浄土真宗の朝鮮布教史——韓国併合（一九一〇年）まで　22
2　朝鮮総督府の宗教政策と日本仏教　33

第2章　日本キリスト教の朝鮮布教とその言説

1　韓国併合以前のキリスト教界の論調　59
2　総督府初期（一九一〇—一九年）のキリスト教観　67
3　日本キリスト教の朝鮮布教——日本組合教会の事例　76

4 個人伝道の先駆者——乗松雅休について 86
5 文化政治下における日本キリスト教 90
6 「神社参拝問題」をめぐって 100

第2部 宗教と文明をめぐる言説と学知

121

第3章 天道教幹部「民族代表」について——アジア主義・文明・ナショナリズム

1 問題の所在 122
2 近代アジアの「文明」観 124
3 天道教幹部「民族代表」の「近代文明」観と「国家」観 129

122

第4章 「朝鮮人」「朝鮮宗教」「朝鮮仏教」への眼差し——高橋亨を中心に

1 高橋亨の略歴 150

149

2 高橋亨の「朝鮮人」観・「朝鮮宗教」観 152
3 高橋亨の「朝鮮仏教」観——『李朝仏教』を中心に 167

第5章 「心田開発運動」政策について

1 農村振興運動と心田開発運動前史 181
2 『心田開発に関する講演集』に見る「心田開発運動」政策 188
3 雑誌「総動員」にみるイデオロギー政策 202

おわりに 223

あとがき 233

索引 242
(i)